

# 浅草第四十三回

# 日本古武道大会

日時 令和七年四月十九日(土)午後十二時半より  
場所 台東リバーサイドスポーツセンター

主催 日本古武道振興会  
後援 東京都台東区

## ご挨拶

日本古武道振興会

会長 柳生 耕一



本日、台東区の御協賛をいただき恒例の日本古武道大会が開催されることは古武道の保存振興のため誠に喜ばしいかぎりであります。

日本の古武道は、長い歴史と伝統の中で生まれ、技を磨くと共に心を磨くという心身両面にわたる鍛錬の道として、現代まで継承されてきたわが国の貴重な民族文化であります。

今日まで伝えられてきた古武道は、流祖先師等古人が生と死を賭けた戦場で習得した実戦の武術であります。それが武士の誉れの信条にあらまます仁、義、礼、智、信と一体となり静と動の様式美さえ醸成され、日本の誇るべき伝統文化財となったものであります。

ご観覧の皆様におかれましては、どうか古武道の心技一如の域に達した各流派の諸先生方の妙技を心ゆくまで味得していただければ幸甚と存じます。

# 浅草第 43 回 日本古武道大会

## 第二会場

- 神道夢想流杖術 (江角 和敏)  
 澁川一流柔術 (森本 邦生)  
 宝蔵院流高田派槍術 (駒喜多 学)  
 荒木流拳法 (鈴木清一郎)  
 無雙直伝英信流居合術 (小藺江徹朗)  
 無雙神傳英信流拔刀兵法 (森本 邦生)  
 荒木流拳法 (菊池 邦光)  
 神道夢想流杖術 (富永 彰三)  
 神夢想林崎流居合術 (笹森ゆき子)  
 夢想神伝流居合術 (高橋 次秀)  
 直心影流薙刀術 (荻原 晴子)  
 尾張貫流槍術 柳生新陰流兵法 (下村 幸裕)  
 田宮流居合術 (妻木 達夫)  
 立身流 (加藤 紘)  
 直元流大長刀術 (笹森ゆき子)  
 天然理心流 (大塚 篤)  
 天道流 (木村 恭子)  
 淺山一傳流兵法 (関 展秀)  
 夢想神伝流居合術 (松崎 秀樹)  
 無限神刀流居合術 (平岡 祥淑)  
 細川家兵法二天一流 (宮田 和宏)  
 水鷗流 正木流鎖鎌術 (勝瀬 善光)  
 夢想神伝居合重信流詰合 (津村 恵治)  
 小野派一刀流劍術 (笹森ゆき子)  
 柳生新陰流兵法 (柳生 耕一)

## 第一会場

- 1 小笠原流弓馬術礼法 (小笠原清忠)
- 2 双水執流小具足腰之廻組討 (宇佐美裕司)
- 3 鞍馬流劍術 (柴田 章雄)
- 4 神道無念流劍術 (小川 武)
- 5 真蔭流柔術 (宇佐美裕司)
- 6 戸山流拔刀道 (中村 朋子)
- 7 和道流柔術拳法・空手術 (大塚 博紀)
- 8 天真正伝香取神道流兵法 (飯篠 快貞)
- 9 兵法タイ捨流 (上原エリ子)
- 10 鹿島新當流劍術 (吉川 常隆)
- 11 無想神傳流拔刀術 (小川 武)
- 12 根岸流手裏劍術 (苔米地芳見)
- 13 柳生心眼流體術 (梶塚 靖司)
- 14 無比無敵流杖術・為我流派勝新流柔術 (根本 憲一)
- 15 天真正伝香取神道流兵法 杉野道場 (飯篠 快貞)
- 16 神夢想林崎流居合術 (石崎 徹)
- 17 伯耆流居合術 星野派 (有若 茂)
- 18 柳生制剛流拔刀 (柳生 耕一)
- 19 柳生心眼流兵法術 (多田 輝夫)
- 20 小野派一刀流 (矢吹 裕二)
- 21 柳生新陰流兵法 (梶塚 靖司)
- 22 天神真楊流柔術 (久保田修弘)
- 23 荒木流軍用小具足 (千葉 明)
- 24 琉球古武術 (井上 貴勝)
- 25 大東流合気柔術 (近藤 昌之)
- 26 森重流砲術 (長塚 正晃)

参加流派 51

参加人数 301 名

# 第一会场

## 一、小笠原流弓馬術礼法 (小笠原長清)

## 二、双水執流小具足腰之廻組討 (二神半之助正聰)

## 三、鞍馬流劍術 (大野將監)

小笠原 清忠 (東京都)

星野 照子  
宇田川 未子  
吉田 一  
鈴木 浩  
星野 真理

宇佐見 裕司 (埼玉県)

飯高 宏司  
舍利 雄  
秋田 智雄  
鈴木 倫和  
左古 史  
圓岡 貴典  
晃汰

柴田 章雄 (東京都)

柴田 穰  
吉田 章  
西城 二  
舟覺

四、神道無念流劍術（福井兵右衛門嘉平）

小川武（東京都）

五、真蔭流柔術（今泉八郎柳定齋源定智）

宇佐見裕司（埼玉県）

六、戸山流拔刀道（中村泰三郎）

中村朋子（神奈川県）

大柴神樋掛山中浅城菽  
木田明口川谷野野崎崎  
賢勝新夏成怜雅史建  
太 太  
二也郎樹彦子浩明郎昭

瀬蛭宇佐見  
沼田美裕司  
健倫裕司  
司史司

增佐橘富水高高  
田藤山主橋野  
幸亜ゆ卓勝淳弘  
里う  
弘香子哉人一光

七、和道流柔術拳法・空手術（大塚 博紀）

大塚博紀（東京都）

八、天真正伝香取神道流兵法（飯篠長威齊家直）

飯篠快貞（千葉県）

九、兵法タイ捨流（丸目蔵人佐藤原長恵）

上原エリ子（熊本県）

十、鹿島新當流剣術（国摩真人 塚原卜伝）

吉川常隆（茨城県）

内田嘉昭  
横尾廣美  
今井淳也  
小松崎政史

田添信一郎  
田中英樹  
森井俊和  
ゴムリア・ジュフリー  
松岡慎也

荒野祥司  
成毛弘  
櫻井俊也  
高野智和

大塚博紀  
坂巻明紀  
寺田英視  
押田良光  
三田篤  
ロヒヤファンデルフェルデ  
高橋みま子  
宮川悦子

十一、無想神傳流拔刀術 (林崎甚助重信)

小川 武 (東京都)

十二、根岸流手裏劍術 (根岸松齡)

苦米地 芳見 (東京都)

十三、柳生心眼流體術 (荒木又右衛門)

梶塚 靖司 (栃木県)

柴神樋掛城萩  
田明口川崎  
勝新夏成建  
太 太 武  
也 郎 樹 彦 郎 昭 (東京都)

田松黒関成村外  
尻村澤 田上川地  
克太慧展 龍誠芳  
也 一 大 秀 惠 一 一 見 (東京都)

谷大前吉谷高寺梶  
和 久 塚  
田田田岡野橋保塚  
悠光樹一文慶敦靖  
介明里紀弥太也司

十四、無比無敵流杖術・為我流派勝新流柔術

(佐々木哲齋徳久、江畑李衛門満真)

根本憲一 (茨城県)

十五、天真正伝香取神道流兵法 杉野道場 (飯篠長威齊家直)

飯篠快貞 (千葉県)

十六、神夢想林崎流居合術 (北條甚助林崎平重信)

石崎徹 (神奈川県)

安矢石	石	米	藁	杉	伊	大	岩	杉	小	横	加	白	沢	村	大	根
西吹崎	崎	崎	科	野	藤	澤	田	野	國	須	瀬	石	幡	木	和	本
裕		光	至	公	享	ま	一	至	英	由	大	達	伸	浩	正	憲
亮二徹	徹	稜	智	彦	弘	さ	政	寛	利	利	輔	郎	男	治	幸	一
		人	ル	智	彦	み	寛		智	子	輔	郎	男	治	幸	唯



十七、伯耆流居合術星野派（片山伯耆守藤原久安）

有若 茂（東京都）

十八、柳生制剛流拔刀（永早長左衛門信正）

柳生 耕一（愛知県）

十九、柳生心眼流兵法術（竹永隼人兼次）

多田 輝夫（群馬県）

二十、小野派一刀流（伊藤一刀齋景久）

矢吹 裕二（東京都）

多田 輝夫  
横瀬 知行  
塩澤 祐也  
細淵 曉久  
工藤 雅博

矢吹 裕二  
石崎 徹  
鈴木 宏哉  
金成 伸  
安西 亮  
内田 佑樹  
陳威 達  
ミリアレス・グリゴリス

二十一、柳生新陰流兵法（柳生石舟斎宗嚴）

二十二、天神真楊流柔術（磯又右衛門源正足）

二十三、荒木流軍用小具足（荒木夢仁齊源秀繩）

梶塚靖司（栃木県）

寺久保敦也

高橋慶太

谷野一文

吉岡樹里

前田

大和田

谷田悠介

久保田修弘（埼玉県）

坂本卓彦

渡邊

岩倉

古川

小澤

柴田裕一郎

千葉明（神奈川県）

千葉明

二十四、琉球古武術

井上貴勝 (東京都)

二十五、大東流合気柔術 (新羅三郎源義光)

近藤昌之 (東京都)

二十六、森重流砲術 (森重鞞負都由)

長塚正晃 (東京都)

遠山栄一郎  
早川敏弘  
宗像定繼  
佐木貴博  
小口俊卓  
岡林上雄  
井上貴勝

近藤昌之  
白石山藤  
河野純一  
味岡磨  
西村英明  
香村由紀子  
ロマンアレクシ  
高田こころ  
川崎磯憲

長塚正晃  
石原智  
林由佳理  
佐藤貴行  
古藤文子  
山沢洋介

第二会場

二、神道夢想流杖術（夢想権之助勝吉）

三、澁川一流柔術（首藤蔵之進満時）

四、宝蔵院流高田派槍術（宝蔵院覚禅房法印胤栄）

江角和敏（東京都）

河村 下間 朝奈 朝比奈 田中 田中 澤田 鹿野 野田 幹雄 太 貴也

森本邦生（広島県）

森本 邦生 内住 厚信 史之

駒喜多学（京都府）

中西 村本 昌 剛永

五、荒木流拳法（荒木夢仁斎源秀繩）

鈴木清一郎（群馬県）

六、無雙直伝英信流居合術（林崎甚助源重信）

小藺江徹朗（茨城県）

七、無雙神傳英信流拔刀兵法（林崎甚助重信）

森本邦生（広島県）

八、荒木流拳法（荒木夢仁斎源秀繩）

菊池邦光（群馬県）

菊池 邦光  
西川 二京  
細野 桂一  
鈴木 史一

森本 邦生  
内住 信生  
鈴木 厚史

小藺江 徹朗  
猪野 研一  
猪野 累一

西長多西内富町西  
村井田村村田田田村  
友奈佐英拓敬  
俊右奈佐英拓敬  
祐俊友 右奈佐英拓敬  
一彦伸健統緒内子也右

九、神道夢想流杖術（夢想權之助勝吉）

十、神夢想林崎流居合術（北條甚助林崎平重信）

十一、夢想神伝流居合術（林崎甚助重信）

富永彰三（福岡県）

青木野野木  
天野野野木  
草野野野木  
浅野野野木  
竹内野野野木  
星内野野野木  
公正勝祐宏卓  
正勝祐宏卓  
久幸正郎宣弥

笹森ゆき子（東京都）

笹森森森  
後藤森森森  
酒井藤森森  
五嵐井藤森森  
熊澤嵐井藤森森  
宮内澤嵐井藤森森  
成政  
一晃則章典香建子

高橋次秀（東京都）

高部橋  
阿部橋  
和利田部橋  
毛水利田部橋  
清水利田部橋  
高橋水利田部橋  
笠野橋水利田部橋  
栗原野橋水利田部橋  
信真陽理公拓博次  
真陽理公拓博次  
一斗子則郎昭秀

十二、直心影流薙刀術 (山田平左衛門藤原光徳)

萩原晴子 (兵庫県)

十三、尾張貫流槍術 柳生新陰流兵法 (津田権之丞平信之・柳生兵庫助利厳)

下村幸裕 (愛知県)

十四、田宮流居合術 (田宮平兵衛業正)

妻木達夫 (神奈川県)

十五、立身流 (立身三京)

加藤紘 (千葉県)

横山 松堤 松澤 松下  
公仁子 和光子 てつ子

赤羽根 若尾 齋藤 小池 増田 三井 木上  
大英洋 周祐 裕和 毅学 平紀 和子 介

妻木 小野 吉池 三宅 森木 信達 文映 利彦 義夫

加藤 加藤 榎原 梅谷 石井 佳太 咲太郎 敦実

十六、直元流大長刀術 (天真正笠井藤左衛門尉)

十七、天然理心流 (近藤内蔵之助藤原長裕)

伊今吉岩南山  
 藤村川屋  
 孝彰博  
 幸延行淳  
 二郎

笹森 笹森 笹森  
 ゆき子 (東京都)

宮五酒後笹笹笹  
 十 井藤森森森  
 内嵐 政 正真 一則章典香健子

大塚 篤 (茨城県)

大塚 栗原 玉山 岩本 佐木 佳典  
 正徳 奈々 真一  
 大塚 篤 (茨城県)



十八、天道流 (齋藤判官伝鬼房)

木村 恭子 (東京都)

十九、浅山一傳流兵法 (浅山一傳齋重晨)

関 展 秀 (茨城県)

二十、夢想神伝流居合術 (林崎甚助重信)

松崎 秀 樹 (千葉県)

奥平大	長マ菅後黒塚関	室馬庄	木田白渡森木
戸石	谷シユ野藤澤田	井 渕	村中井辺田村
	裕ハ一ハ一	一誠羽	克友貴有
史竹	介	真子林	充実優恵子里
悠樹正			

二十一、無限神刀流居合術（武田惣角正義山本一刀齋）

平岡祥淑（静岡県）

二十二、細川家伝統兵法二天一流（新免武藏守玄信）

宮田和宏（福岡県）

二十三、水鷗流 正木流鎖鎌術（三間与一左衛門景延）

勝瀬善光（静岡県）

二十四、夢想神伝居合林崎重信流詰合（林崎甚助重信）

（津）村惠治（東京都）

関安生 安戸生 安戸生 安戸生  
神生 神生 神生 神生  
山口 山口 山口 山口  
西原 西原 西原 西原

今枝大輔  
安ソニー・フー  
杉浦由悟  
吉川瑠里子  
黒滝喬子

吉村壮平  
深谷俊文  
メルハヤシ  
田村祐香里

中嶋昌広  
里見大介  
根本勝爾  
石川憲雄  
蓮太郎

二十五、小野派一刀流劍術（伊藤一刀齋景久）

二十六、柳生新陰流兵法（上泉伊勢守信綱）

笹  
森  
ゆき子（東京都）

宮五酒後笹笹笹  
十  
内嵐井藤森森森  
政 正真 ゆき子  
一則章典香建子

柳  
生  
耕  
一（愛知県）

鈴永藤洌星小  
鹿井岡上川泉  
英慶 俊宣弥  
和太桂顕禎也

## 古武道振興会沿革

日本古武道振興会は、昭和十年四月一日、松本学貴族院議員、小山松吉司法大臣、二荒芳徳伯爵等、当時の有識者と古武道各流派代表者が集まり結成されました。日本の誇るべき伝統文化財である古武道の衰微を憂い、その保存と振興を図ることを目的としました。昭和十五年四月四日には、財団法人の許可を受け多彩な活動を展開し大きな成果をあげてまいりましたが、終戦に伴う米軍占領下という事情もあり、財団法人を自主解散し、現在にいたる任意団体になりました。

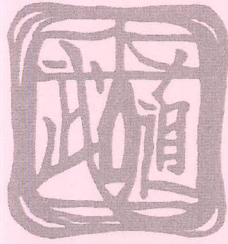
古武道振興の主旨は、日本の誇るべき文化財である日本武術の神髓を体得錬磨し、青少年に普及することにあります。「武は戈を止める」と申されております如く日常の武術修練によって得た心技体の実力をあくまで表面に示さず謙虚に余裕をもって自己及周囲を洞察する心と体を養うことにあります。その武の心を心として各流派宗家、師範を中心に毎年十一月三日の明治神宮の演武大会、伊勢神宮(式年遷宮年)、靖国神社、下鴨神社、白峯神宮、熱田神宮、等戦前に引続き奉納演武が恒例となっております。

日本古武道振興会としては、活動の一環として古武道大会開催の他、流儀解説の普及にも努めてまいりました。昭和三十七年発行の機関誌「真鋭」第二号で各流儀の流祖伝系、演武者の経歴を掲載したのをはじめ、昭和四十五年には「真鋭」別冊で同じく流儀解説を紹介、その後本格的な流儀解説書を創立四十六周年(昭和五十六年)に発行し、創立五十周年(昭和六十年)からは五年ごとに創立記念古武道大会を開催すると同時に、流儀解説書を改訂刊行してまいりました。

平成二十七年七月十九日(日)には、創立八十周年記念大会を中野サンプラザホールにて開催。

令和二年七月五日(日)には、創立八十五周年大会を伊勢神宮にて行う予定でしたが、コロナ禍の為中止。

今後も古武道の益々の発展と隆盛を期して参ります。



# 日本古武道振興会

事務局 〒155-0032 東京都世田谷区代沢1-13-2 笹森ゆき子

ホームページ <http://kobushin.jp/>  
メール [kobudoushinkoukai@yahoo.co.jp](mailto:kobudoushinkoukai@yahoo.co.jp)